

ロジスティックシステムデザイン～ロジスティックシステムデザイン：

運送システムの立案

職務遂行のための基準

（運送システム構想）

- 運送システムの改善事例とそれぞれの目的・効果を収集・整理し、ロジスティクスシステム全体への影響を考察したうえで、自社への適用を試みている。
- 顧客の商品販売戦略や販売動向に合わせて、輸配送ルートの変更や輸送業者の選定、アウトソーシングなど、物流ネットワークの組み換えを起案している。
- 運送付帯業務や運送関連事業など、運送委託先の経営資源を有効活用したサービスにより、運送サービスの差別化を図っている。
- 貨物の性質、大きさ、数量、必要な輸送時間、集荷・荷卸し時間、輸送距離、輸送コスト等を総合的に勘案し、運送委託や利用運送により各種輸送機関を適宜組み合わせ、複合輸送による運送の効率化を図っている。
- 共同配送が可能な企業間のコストやサービス水準・その他の利害調整、意志の疎通・決定方法、機器や処理手順の標準化を図ったうえで、共同配送による運送の効率化を推進している。

（環境調和とコンプライアンス）

- 運送システムの環境調和に関する評価方法を検討し、顧客、自社、運送委託先が納得できる具体的な環境対策を推進している。
- 運送委託に際しては、コンプライアンスの観点から運送システムを検証し、また、運送委託先のコンプライアンス管理体制を観察、評価し、運送の安全性を担保している。

（必要な知識）

1. ロジスティクスシステムの知識 ・部門統制と全体最適化 ・ロジスティクスコスト ・キャッシュ・フローと在庫マネジメント ・物流システム（運送・倉庫・物流情報システム） ・サードパーティロジスティクス（3PL） ・サプライチェーンマネジメント（SCM）
2. 物流管理の専門知識 ・作業生産性管理 ・物流品質管理 ・物流コスト管理 ・環境対策・コンプライアンス
3. 物流技術の専門知識 ・物流の機能 ・運送システムと作業の概要 ・倉庫システムと作業の概要 ・物流情報システムとオペレーション
4. コンセプト創造手法 ・ブレインストーミング法 ・KJ法 ・チェックリスト法 など